

令和元年11月15日  
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立豊津中学校  
校長 古本 隆

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学・英語に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### ●国語《概要》

- ・本校生徒の平均正答率は全国値を上回っており、良好な結果でした。

#### ●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 話すこと・聞くこと

- ・ほとんどの設問において正答率が全国値を上回っており、良好な結果でした。しかしながら、話し合いの話題や方向を捉える設問では、ほかの設問と比較すると若干低く、課題が残ります。

##### 書くこと

- ・ほとんどの設問において正答率が全国値をやや上回っており、良好な結果でした。ただ、ほかの領域と比べると、全国値に対する割合がやや低く、課題が残ります。

##### 読むこと

- ・ほとんどの設問において正答率が全国値を上回っており、良好な結果でした。しかしながら、文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ設問では、ほかの設問と比較すると若干低く、課題が残ります。

##### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・ほとんどの設問において正答率が全国値を上回っており、良好な結果でした。

#### ●国語における成果と今後の改善点について

全体的にどの領域においても正答率が高く、学習の成果が表れております。特に「読むこと」・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

に関して高い正答率となりました。しかし「書くこと」の領域ではほかの領域と比べ、全国値に対する割合がやや低く、課題が残ります。また、無回答率も全体的に全国よりも低く、どの問題に対しても前向きに回答したことが分かります。

授業に対しても全体的に前向きに取り組む姿勢が見られています。特に、自分の考えを書くことや文法、古典文など中学生が苦手意識を持ちやすい分野においても、積極的に取り組み、力を伸ばしています。

## ●数学《概要》

- ・本校生徒の平均正答率は全国値を上回っており、良好な結果でした。

## ●数学《各領域における成果と課題・指導改善のポイント》

### 数と式

- ・ほとんどの項目において全国値を上回り、良好な結果でした。
- ・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する問題についてはその他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

### 図形

- ・ほとんどの項目において全国値を上回り、良好な結果でした。
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし説明する問題で、その他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

### 関数

- ・ほとんどの項目において全国値を上回り良好な結果でした。
- ・関数の意味について理解しているかを問う問題や与えられた表やグラフから事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題で、その他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

### 資料の活用

- ・すべての項目において全国値を上回り良好な結果でした。
- ・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することが必要な問題で正答率が低く課題が残ります。

## ●数学における成果と今後の改善点について

計算や関数・図形などの各分野で、基本的な知識・理解を問う問題の正答率が非常に高く、基礎・基本を繰り返し学習している成果が表れています。また、数学的な技能を必要とする問題について、関数の分野を中心に、難易度の比較的高い問題に対しても正答率の高い問題があり、学習の成果が表れています。

一方で、問題解決の方法を数学的に説明する問題の正答率が低いことが見られます。基礎・基本を繰り返す学習を継続していきながら、日常的な事象において、数量や図形に着目して見いだした特徴を数学的に表現できる力をつけていく必要性があります。

様々な問題を解決できるようにするために、問題解決の方法や手順をペア学習やグループ学習を用いて説明する場面を増やし、式や関数、図形の性質などの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることが大切です。また、問題解決の方法について考えるだけでなく、問題解決後に

そのすじみちを振り返りながら、「何を」「どのように」用いたのかを明らかにして、数学的な言葉や表現を用いて説明する活動を充実することも大切です。

●英語《概要》

- ・本校生徒の平均正答率は全国値を上回っており、良好な結果でした。

●英語《各領域における成果と課題・指導改善のポイント》

聞くこと

- ・ほとんどの設問で正答率が全国値をやや上回っており、良好な結果でした。しかしながらまとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解する設問ではほかの設問と比較すると若干低く、課題が残ります。

話すこと (参考値)

- ・「話すこと調査」については、参考値としてではありますが、全国値を上回っています。しかし、聞き取って把握した内容に関してやり取りをする設問に関しては全国値をやや下回り、聞き取ったことを即興で自己表現することに関しては課題が残りました。

読むこと

- ・ほとんどの設問が全国値を上回っており、良好な結果でした。特に、日常的话题に関する設問では全国値を上回っていました。

書くこと

- ・どの設問も正答率が全国値を上回っており、良好な結果でした。特に、与えられた情報に基づいて説明文を書く問題では全国値を上回っており、より高いステップアップが期待できます。

●英語における成果と今後の改善点について

全体的にどの領域においても正答率が高く、学習の成果が表れています。特に、「書くこと」の分野に関しては全国値を上回っており、英語で表現する力がついてきていることがわかりました。しかし、「読むこと」の問題に関しては、なじみのない話題や問題形式の設問については正答率がやや低く、課題が残りました。基本的な単語や文法事項を丁寧に学習し、落ち着いて問題を読み解くことが今後は求められます。

また、今年度初めて実施された「話すこと調査」では参考値ではありながらも、どの設問も全国値をやや上回りました。特に基本的な受け答えに対しては全国値を上回る結果を残すことができました。今後はテーマに対してまとまりのある内容を話す力をつけることが重要になると考えられます。授業内の表現活動で意欲をもって自分の考えを発信し、自信をもって英語を話せるようになることを期待します。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【学習環境・生活環境について】

- ・「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」について良好な結果で、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と肯定的に答えた生徒は昨年度値を上回りましたが、全国値をやや下回っています。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか」については、肯定的に答えた生徒の割合は全国値とほぼ同じです。
- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」について、当てはまると答えた生徒の割合は全国値をやや上回っています。

- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」についても肯定的に答えた生徒は全国値をやや上回っています。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」について肯定的に答えた生徒は全国値を上回っています。
  - ・「学校の規則を守っていますか」について、当てはまると答えた生徒は全国値を上回っています。
  - ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」についてはほとんどの生徒は肯定的に答えていましたがそう思わない生徒も若干います。より一層の人権教育を推進してまいります。
  - ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」について肯定的に答えた生徒は全国値をやや上回っています。
  - ・「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた生徒は全国値を下回っています。

#### 【教科・学習について】

- ・「読書は好きですか」について肯定的に答えた生徒は全国値を下回っています。「新聞をほとんど、または全く読まない」生徒が全国値を上回っています。
- ・学校の授業時間以外に、1日2時間以上勉強をしていると約半数の生徒が答えており、全国値を上回っています。
- ・「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」と肯定的に答えた生徒は全国値を上回っており、「1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループ活動で話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う」と肯定的に答えた生徒は全国値とほぼ同じでした。
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」について肯定的に答えた生徒は全国値を上回っています。「数学の勉強は好きですか」について肯定的に答えた生徒は全国値を上回っています。「あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についてりしたいと思いますか」について肯定的に答えた生徒は全国値を上回っています。

### 3 今後の取り組み

教科に関する結果を踏まえ、生徒たちが、自分の考えを表現できる場の設定だけでなく、友達と協働的に学ぶことの良さを実感し「知識を共有し、主体的・対話的で深い学び」ができる授業を展開してまいります。また、将来の夢や希望を持ち、考える力を身につけ、学ぶ意欲を高める授業づくりを追求してまいります。

生活環境や学習習慣等の結果を踏まえ、基本的生活習慣をもとに、地域社会への関心を持ち、自ら学び考える力、豊かな心、社会性の育成をめざしてまいります。

今後とも本校の教育活動へのご理解をいただき、生徒の自立と幅広い学習の機会をつくるため、ご協力をお願いいたします。